

小机小学校

令和8年度
学校説明会資料

校長 遠藤 淳子



皆様、こんにちは。

着任して4年目を迎えました学校長の遠藤でございます。

日頃より、本校の教育活動にご理解と協力を賜り、ありがとうございます。

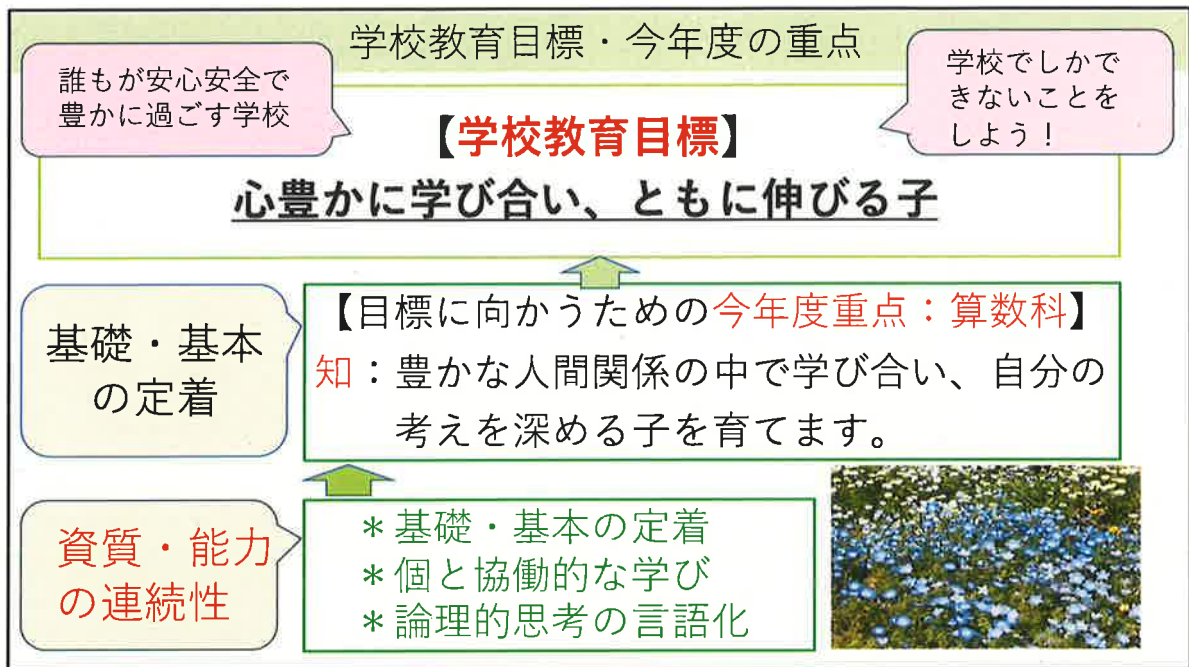


小机小学校学区には、続日本100名城 小机城があります。
 小机城の訪城記念には、北条氏の紋所の「三つ鱗」と、小机城
 代々の城主である笠原家の紋所の「三つ柏」がついています。

本校の校章も、三つ柏。

この小机城の歴史的な重みを大切にし、秋枯れの葉は次の新芽
 の成長を見届けて散るという縁起の良い葉であることを含め、
 知・徳・体の、子どもたちの健全で望ましい人間形成を願って、
 本校初代校長が考案した校章です。

柏の葉同様に、これまでの小机小の歴史と伝統の継承をしながら
 も、日産スタジアムで行われたラグビーワールドカップ決勝
 でのトライ精神をもちつつ、今年度も、子ども達とともに、新
 たな令和の時代にふさわしい学校生活の創造に向かいます。



学校教育目標は、スライドの通りです。

今年度も、互いの思いや考えを「聞こうとする」「伝え合おうとする」ところから協働して学ぶ良さを実感していけるようにしたいと思います。学習面では、基礎・基本を確かなものとし、自らの学習過程を振り返り、言語表現できる子を目指します。生活面では、伝統とする「縦割り交流」の機会を有効活用し、他者と豊かに関わることができる心を育みます。

【横浜市立小机小学校】

* 創立44周年・全校児童 550名

伝統や学びを持続可能にするために



* 和平小学校（中国）との交流

⇒R7年度から 児童：国際交流委員会

* サクラソウプロジェクト

⇒R7年度から 児童：環境委員会

* フィリピン物資支援

⇒R7年度から 児童：国際交流委員会

今年度は、個別支援級5クラスを含めて 23クラス
550名でスタートしました。

中学校ブロックは、城郷中学校ブロックです。

城郷小学校と1中2小で連携をとっていききたいと思いま
す。

持続可能な活動を目指し、R7年度から、中国和平小学校
との交流やフィリピンへの物資支援は、児童国際交流委
員会が、サクラソウプロジェクトは、児童環境委員会が
中心となって継続していきます。

希少株である「サクラソウ小机」も、昨年度の暑い夏を
超え、新しい芽を伸ばしています。

委員会児童が中心となりますが、学んだことは全校に発
信しながら、情報を共有していきたいと思っています。

【横浜市立小机小学校】



伝統や学びを持続可能にするために



* 「柏の葉」の意味

⇒ 昼会での校長の話・食育での扱い

* 小机城の学び（小机城址まつり・修学旅行との関連）

⇒ R6年度～6年生の学びの足跡（昇降口前ブース）

* 挨拶

⇒ 目を見て、自分から。教師の姿は手本。

* 竹灯籠祭り（地域行事：4年生の教育課程）

⇒ 「竹」を材に総合展開 ・ 校庭での前夜祭

他にも、港北区3大まつりである「小机城址まつり」の参加や、「竹灯籠まつり」への作品出展、柏の葉についての学びや挨拶運動等、これまで大切に受け継がれてきた伝統を絶やすことなく、未来につなげていけるような今年度の活動になるとよいと考えています。

城郷中学校ブロック連携

城郷中学校・城郷小学校

地域に愛され地域に貢献する子ども
を育成する

学校運営協議会

児童・生徒交流



城郷中ブロック・グランドデザイン

中学校ブロックでは、「9年間で育てたい子ども像」を共有しています。

城郷ブロック・グランドデザインを基にしながら、3校で連携を図り、「地域に愛され、地域をふるさととして、地域に貢献する子ども」を、小中の学びを通して、育成しようと思います。

チーム **学年** 経営（学年全体で児童指導）・ **フロア**（**異学年**）経営

一部教科交換授業
（低学年は実態に応じて）

教室配置
（隣が異学年ペア学級）



児童支援専任・特別支援コーディネーター

各学年は、一部教科交換授業をしています。低学年も状況を見て導入していく予定です。

今年度は、隣が異学年クラスという教室配置になったので、なお一層、学級経営は、学年経営・フロア経営で支えていきます。児童支援専任が全児童を見守っていきますが、

必要に応じて、SC・SSW・児童相談所・教育委員会・区役所・警察等 外部機関との連携も密にとりながら、子ども達の安心・安全な学校生活を築いていきます。

【小机小 SDGs 構想】

- * 子ども達の生活や学びとSDGsの17の目標の結びつき
- * 持続可能な社会を創る一員としての自覚の促し

R8 小学校校長会学力向上推進校
ESD教育推進校
はまっこカンパニー（応募予定）



R8 人権教育推進校（城郷中ブロック）

横浜Olive

城郷小学校・城郷中学校と協働して港北区の人権教育を推進

これまで、様々な活動を通してSDGs（17の目標）にも目や意識を向けられるようになってきました。

推進校として、発信の場を得られる機会に恵まれますので、体験や活動、人とのつながりで得た学びを、市内広く発信できる学校でありたいと思っています。

【小机小 SDGs 構想（主な学習材と連携機関）】

- *子ども達の生活や学びとSDGsの17の目標の結びつき
- *持続可能な社会を創る一員としての自覚の促し

56組：野菜

1年：学校生活（近隣幼保園）

2年：野菜（新横浜公園・JA港北）

3年：レモン・夏みかん（HANAEMI）

4年：竹（日本の竹ファンクラブ）

5年：横浜オリーブ（めめ菓子工房・パンデイ）

6年：小机城址（横浜歴史博物館学芸員・とんぼの会）



レモンの花

学びの中心となるものを「材」と言いますが、人やもの、ことに出会い、専門家の生き方に学び、最終的には、よりよく生きる子、地域参画する子を目指していきます。小机には、たくさんの「材」があり、地域の多くの方々や企業、専門家に学びの支援をいただいております。

- * 子ども達の生活や学びとSDGsの17の目標の結びつき
- * 持続可能な社会を創る一員としての自覚の促し

【小机小 ESD教育：多文化共生教育】

- * フィリピン物資支援（文具・上履き・ランドセル）
 - ⇒ 福祉作業所 らいちょう
- * 5年生総合学習 ⇒ 社会福祉法人 かたるべ会
 - ⇒ 地域活動支援センターごぼうハウス

【広報ふれあい委員会】 ⇒ 学んだことを全校に発信
(5月は手話月間) (日常的に手話を使う機会)
外部講師(聾者)を招いて **手話は言語**であることを学ぶ

多文化共生教育にも、様々な体験を通して触れています。教育・福祉の視点を通して、子どもたちの視野や創造力を広げ、心優しく豊かな人間性の育みを目指していきます。

教職員の働き方改革

＊働き方改革をベースに＊
心身ともに健康な教職員
組織で子どもを育てる。

勤務時間 平日 8：15～16：45

これ以外の勤務に要する時間は、時間外勤務
【横浜市の第4期教育振興基本計画】

＊時間外勤務

2ヶ月連続80時間超えの教職員数： 0人

19時までに退勤する教職員の割合： 90%

【R7より休憩時間は、輪番で電話・来客対応をします】
小机小の実態把握と働き方改革へのご理解を

地域行事

おやじの会
畑作業

教職員は分散参加

【児童指導】

放課後の保護
管理者は、
保護者

【保護者対応】

児童間トラブル
心配事・相談事
勤務時間内

私たち教育公務員の勤務時間は、8時15分から16時45分です。

6時間以上の勤務で45分の休憩を取らなくてはなりません。学校教育目標実現のためにも、働き方改革は必須です。

横浜市第4期・第5期教育振興計画にあるように、時間外勤務の状況を改善していくためには、保護者・地域の方のご理解とご協力が不可欠です（教育長・教育委員会通知）。

教職員は、心身ともに健康な状態で、子ども達と向き合っていきたいと思っております。

【コロナウイルス・インフルエンザ感染症 等 拡大防止対策】

- * 横浜市教育活動のガイドライン遵守
- * 換気等の環境・水分補給・健康観察
- * うがいや石鹸を使用した手洗い指導



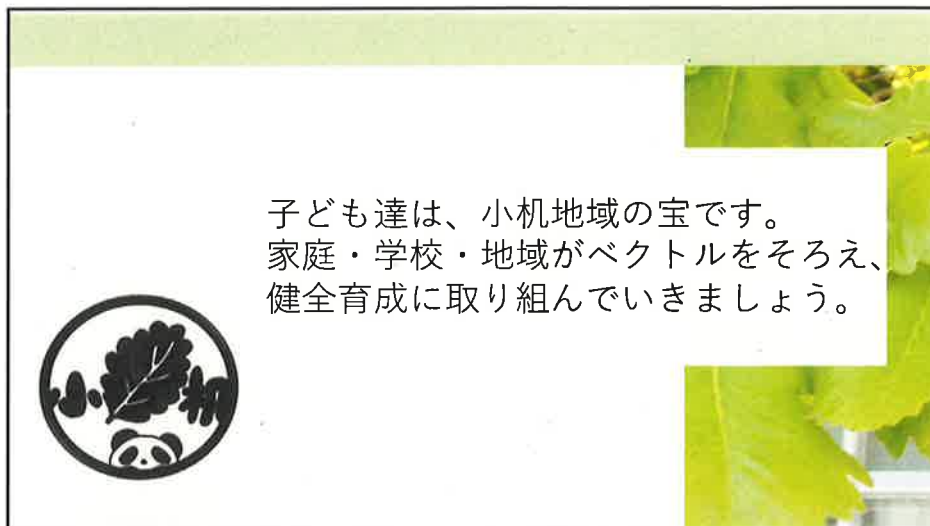
熱中症対策

- ・ WBGT指数
- ・ 体育での運動
- ・ 水泳学習
- ・ 校外学習
- ・ 体育館活動

- * 社会状況を鑑み、都度、判断
- * 児童の安全・安心第一を考え
予定内容変更や延期・中止も
あり得ます。

教育活動におきましては、今年度も感染症の社会状況や横浜市から通知されるガイドラインを遵守しながら、都度、判断をしてまいります。換気や石鹸を使った手洗いの慣行は継続していきます。昨今の気候変動による、暑さ対策も必須です。ご家庭での健康観察もどうぞよろしくお願いいたします。

子ども達の安心・安全を第一としながらも、知恵と工夫を紡ぎながら、「楽しい思い出に残る学校生活」をつくっていただけるように努力していきたいと思っております。



感情コントロールができずに手足が出る子、言葉でうまく自己表現できないために、乱暴な言葉遣いになりがちの子、自己本位な言動をとりがちな様子が見られることは、残念ながら少なくありません。

また、読書経験の少なさ、話を聞く態度が不十分であることが、学習の基礎・基本の定着に影響がある様子が見て取れます。

授業では、いかに「聞きたくなるか」「したくなるか」の仕掛けを含めて、どの子も「わかる」「できる」「考える」等の本質的に学ぶ喜びを感じていけるように教師の授業改善が必須です。

生活面においては、ご家庭だけ、または、学校だけで、子どもたちは健全で、発達段階に応じた豊かな社会性を身に付けていけるものではありません。ご家庭とともに困ったり悩んだりしながら、集団生活での様々な経験を経て、「意思のある自立した社会人」に育てていけるようにしたいと思っています。

粘り強く、繰り返し、個に応じた指導が必要だと思っています。

教職員一同、子どもたちの安心・安全で豊かな学校生活を子どもたちとともに、つくっていけるように努力してまいります。
保護者の皆様におかれましても、引き続き、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いたします。